

第2号

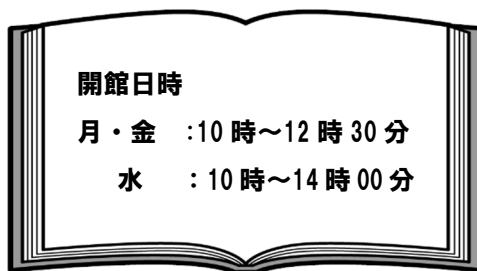
令和8年5月22日



地域開放図書館だより

札幌市立藤野小学校開放図書館運営委員会

本の宝箱だより



開館日時

月・金 :10時~12時30分

水 :10時~14時00分

「つまづいてもいい」と思える居場所「本の宝箱」開館43年目を迎えて

札幌市立藤野小学校 開放図書館

館長 佐野 恭敏

若葉の緑がまぶしい季節となってまいりました。藤野小学校の子どもたちは、5月末の運動会に向け、短距離走や表現などの練習に、元気よく取り組んでいるところです。

さて、今年度も藤野小学校開放図書館「本の宝箱」が開館いたしました。当図書館は地域の皆様の温かいご理解とご協力に支えられ、今年で開館43年目を迎えます。この図書館の運営に当たっては、開放司書の坂本さんとたくさんの図書ボランティアの皆様に貸出業務に加え、読書環境の充実に向け、日々ご協力いただいております。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

「本の宝箱」が開館したおよそ40年前、1冊の書籍が発表されました。相田みつをさんの代表作『にんげんだもの』です。その中に記された「つまづいたっていいじゃないかにんげんだもの」という言葉は、人間の弱さや脆さを認め、ありのままの自分を受け入れる大切さを伝える名言として今も深い共感を呼んでいます。

子どもたちは日々の成長の中で、時にはつまづき悩むこともあります。そしてそれは、日々を懸命に生きる私たち大人も同じです。そんな時、ふらりとこの図書館に立ち寄り一冊の本を開いてみたり、図書館のスタッフや地域の方と何気ない会話を交わしてみる。そうすることで、「人間だもの、失敗してもいいんだ」と、心がふっと軽くなる瞬間があるのではないのでしょうか。

当図書館は、開館当初から変わらず新しい知識を得る「学びの場」と同時に、だれもが安心して立ち寄れる地域の皆様の「心の休憩所」でありたいと願ってまいりました。限られた開館日時ではありますが、お散歩の途中や少し心が疲れた時など、どうぞお気軽に立ち寄りください。

温かい言葉の詰まったたくさんの本とともに皆様のお越しをお待ちしております。

今年度も本校開放図書館「本の宝箱」にかかわっていただくすべてのみなさまのご理解、ご協力をいただきながら充実した図書館運営となるよう心掛けてまいります。

「本の宝箱」への一層のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



「ふじコン」は藤野をイメージして作成された藤野小学校の公式キャラクターです。令和6年度の6年生児童が作成しました。



今年度も「本の宝箱」は司書さんをはじめ、保護者・地域ボランティアの皆さんからの支えと協力で運営してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

私は小学生の頃、ジャンルを問わず図鑑が好きでした。ファール昆虫記やシートン動物記も読み漁りましたが、今も有るのかな？

大人になって気付きましたが、日本語の使い方や漢字、勇気や友情、想像力や雑学など、本から学んだことがとても多いと感じます。本好きの方は継続を、そうでない方はまず1冊目に是非挑戦してみてください。小説、漫画、図鑑など種類は何でも構いません。

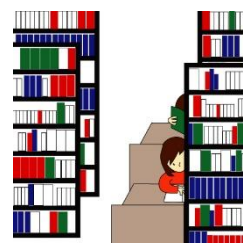
「本の宝箱」は、いつでもたくさんの本がみなさんのことを待っています。



月	水	金
		1
4 こどもの日	6	8
11	13	15 遠足
18	20	22
25	27	29



- ☆ 4日 みどりの日の為閉館
- ☆ 6日 振替休日の為閉館
- ☆ 15日 ふじのつこ遠足の為閉館



月	水	金
1 振替休業日	3	5
8	10	12
15	17	19
22	24	26
29		



- ☆ 1日 学校行事振替休業日のため休館

